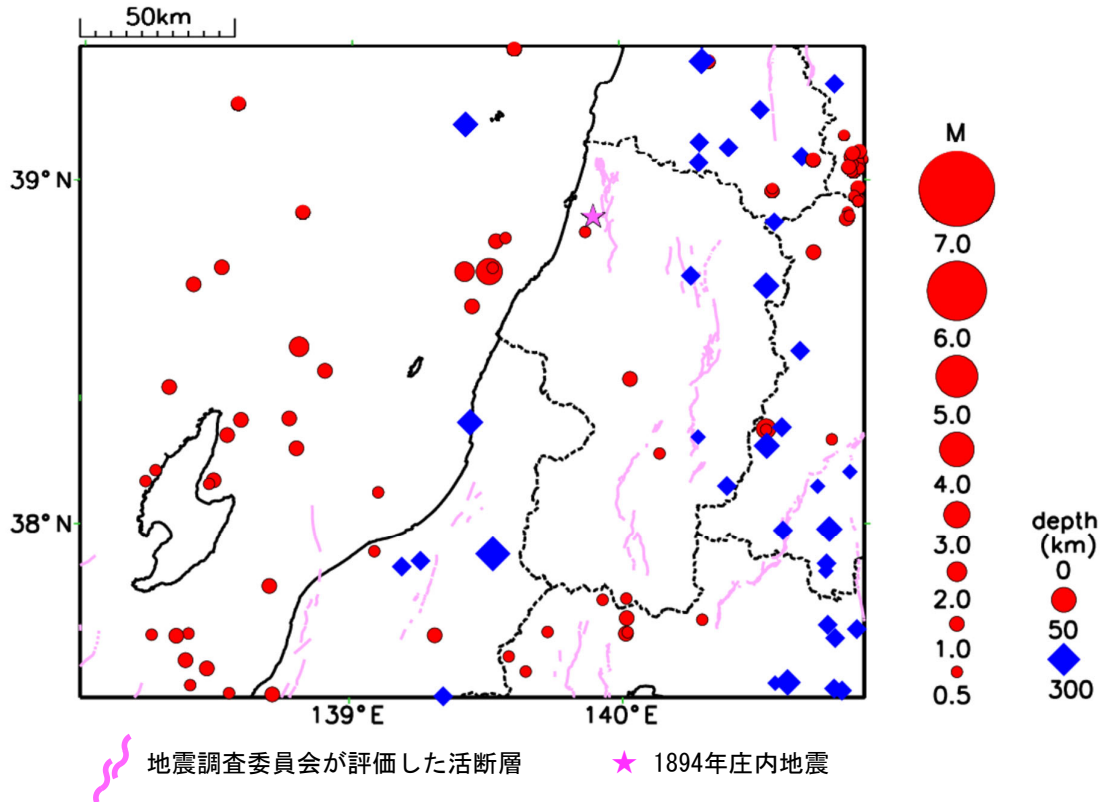


山形県月間地震概況（2026年5月）

山形地方気象台

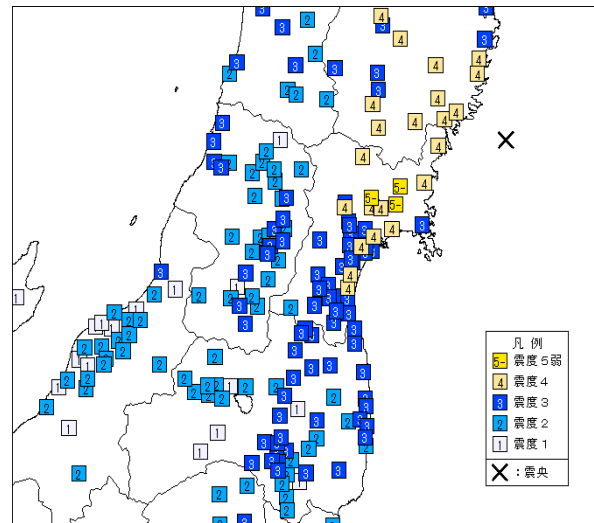
今期間(5月1日～31日)の震央分布図



【概況】

期間中に県内で震度1以上を観測した地震は5回(前期間12回)であった。このうち、山形県内で震度3以上を観測した地震は1回(前期間1回)であった。

15日20時22分に宮城県沖の深さ46kmでM6.4の地震が発生し、宮城県登米市・大崎市・石巻市で震度5弱を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度4～1を観測した。県内では山形市、酒田市、米沢市などで震度3を観測したほか、広い範囲で震度2から1を観測した(右図)。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。



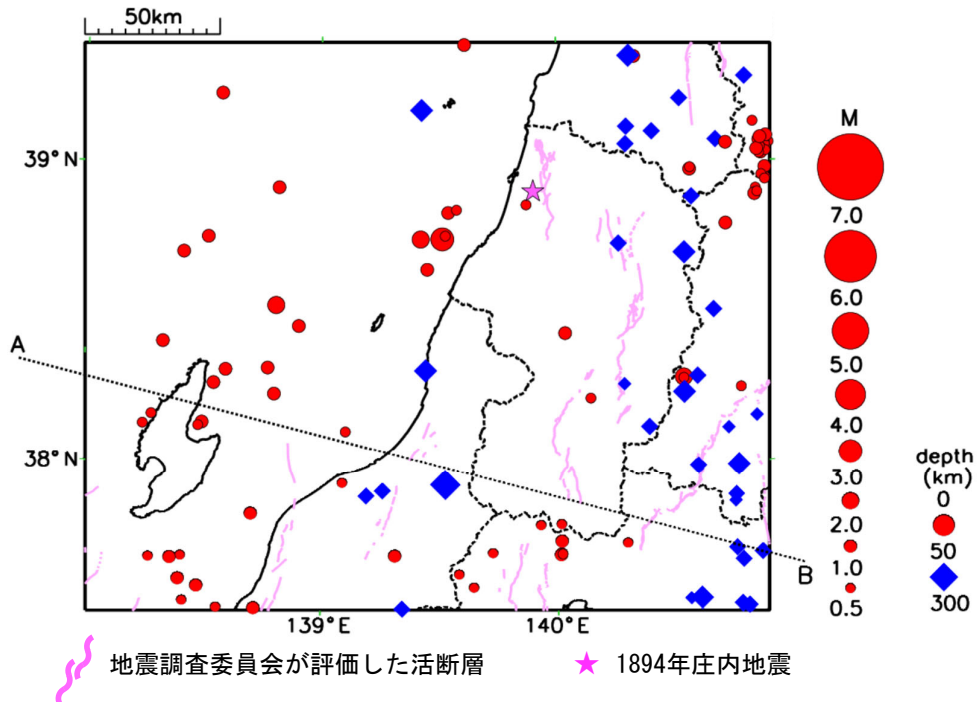
15日20時22分に宮城県沖で発生した地震(M6.4)の震央(X)と市町村別震度

※本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「M」として表記している。

※山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお、震源要素等は、再調査により変更することがある。

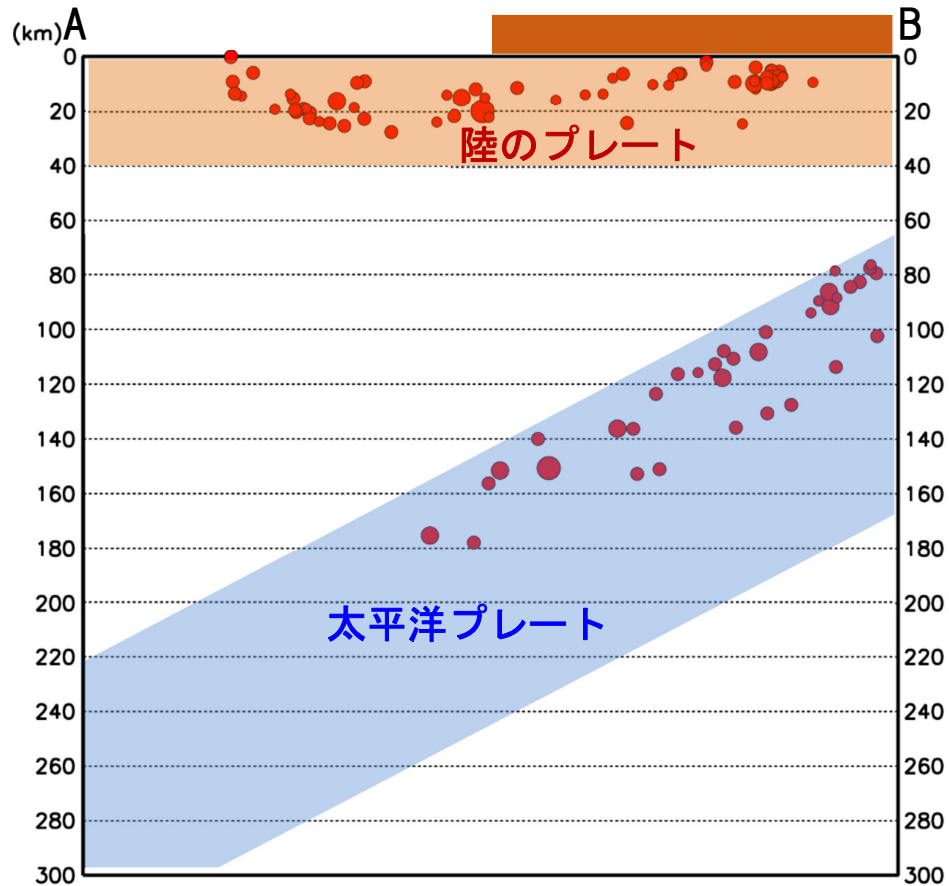
【震央分布図】

今期間の震央分布図(M \geq 0.5、深さ0~300km)



【断面図】

断面図は震央分布図内の震源を直線A-B(太平洋プレートの沈み込む方向)に投影したものである。



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

山形県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2026年 5月 1日～2026年 5月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2026年05月05日08時54分	三陸沖	39° 53.6' N	143° 04.8' E	17km	M5.4
山形県	震度 1 : 中山町長崎*				
2026年05月08日08時31分	福島県沖	37° 30.4' N	141° 32.6' E	47km	M4.7
山形県	震度 1 : 中山町長崎* 米沢市林泉寺*				
2026年05月14日05時01分	岩手県内陸北部	39° 50.2' N	141° 25.5' E	12km	M4.8
山形県	震度 1 : 鶴岡市温海川 酒田市亀ヶ崎 酒田市飛鳥* 酒田市山田* 真室川町新町*				
2026年05月15日20時22分	宮城県沖	38° 54.2' N	142° 05.8' E	46km	M6.4
山形県	震度 3 : 鶴岡市藤島* 酒田市亀ヶ崎 酒田市飛鳥* 酒田市山田* 三川町横山* 遊佐町遊佐村山市中央* 天童市老野森* 山辺町緑ヶ丘* 中山町長崎* 河北町役場* 尾花沢市若葉町* 米沢市林泉寺* 山形川西町上小松* 白鷹町荒砥* 震度 2 : 鶴岡市馬場町 鶴岡市温海川 鶴岡市道田町* 鶴岡市上山添* 鶴岡市羽黒町* 酒田市宮野浦* 酒田市観音寺* 酒田市本町* 遊佐町小原田 遊佐町舞鶴* 庄内町狩川* 庄内町余目* 新庄市東谷地田町 新庄市堀端町* 新庄市住吉町* 最上町向町* 舟形町舟形* 真室川町新町* 大蔵村肘折* 大蔵村清水* 鮭川村佐渡* 戸沢村古口* 山形市緑町 山形市薬師町* 山形市旅籠町* 寒河江市西根* 寒河江市中央* 上山市河崎* 東根市中央* 河北町西里 西川町大井沢* 西川町海味* 山形朝日町宮宿* 大江町左沢* 大石田町緑町* 米沢市駅前 米沢市アルカディア 米沢市金池* 南陽市三間通* 高島町高島* 山形小国町岩井沢 山形小国町小国小坂町* 白鷹町黒鴨 飯豊町椿* 震度 1 : 鶴岡市下名川* 庄内町清川* 山形金山町中田 山形金山町金山* 長井市本町* 飯豊町上原*				
2026年05月17日09時07分	三陸沖	39° 53.6' N	143° 03.5' E	16km	M4.9
山形県	震度 1 : 中山町長崎*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は山形県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

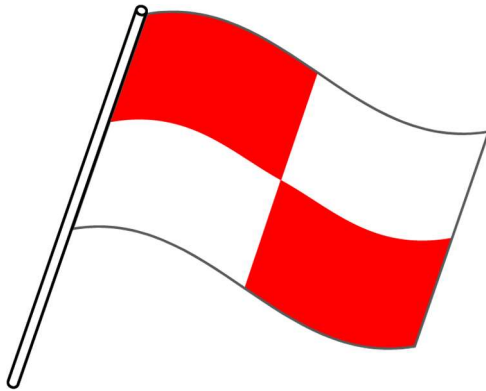
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

「津波フラッグ」を見たら速やかに避難！

「津波フラッグ」は津波警報等が発表されたことをお知らせする旗で、山形県内でも既に導入されている海水浴場があります。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等の様々な手段で伝達されますが、「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表を視覚的にお知らせすることができます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに高い所へ避難して下さい。

津波フラッグのデザイン



海岸で津波フラッグを振っているイメージ
(公益財団法人 日本ライフセービング協会提供)

津波フラッグのページ

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html

津波から身を守るために

- ・海辺で強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、速やかに海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難しましょう。
- ・揺れを感じていなくても、「津波フラッグ」を確認したり、津波警報等を見たり聞いたりしたら、速やかにより高い安全な場所へ避難しましょう。
- ・津波は繰り返し襲ってきます。また、第一波が最大とは限りません。避難後は最新の情報を確認し、津波警報等が解除されるまで避難を続けて下さい。
- ・市や町が作成している津波ハザードマップで、避難先や避難すべき方法などを確認しておきましょう。